



専門家派遣事業

郊外店進出で影響受ける地元店 新発想で集客力回復を目指す

百年以上の歴史を誇る老舗商家でありながら、目まぐるしい社会情勢の変化で商売のやり方を考え直さざるを得ない現実。店舗に人を招き入れるために、「まちの駅」のブランドを生かして集客の足がかりにする。

集客力の回復が急務だった老舗商家

“カクト”の屋号を持つ湯沢市大町の「とみや」は、今年で創業111年になる老舗の商家だ。陶器販売が中心の商いで、広い店内に陳列している商品の種類や数は潤沢だ。ただ、ご多分に漏れず郊外店などの影響も受けて、今後の商売のやり方はしっかり見直さなければならぬ時期になっていた。

そのため、あきた企業活性化センターが主催するワンストップ移動相談に出向き、現状分析をしてもらったところ、問題は集客をどうするかという点に尽きるという結論に至った。そこで専門家派遣事業を利用し、集客力を高めるためのアドバイスを受けることになった。

「まちの駅」の開設に活路を見出す

紹介を受けた専門家からのアドバイスの一つに、店内の一部を「まちの駅」にしてみてもどうか、というものがあつた。

「まちの駅」とは、公共施設や個人商店などが既存空間を利用して、地域情報を提供したり交流の促進に供される場で、任意団体「まちの駅連絡協議会」に申請し、認定審査を経て同協議会への入会が認められる。

カクトとみや

〒012-0841
秋田県湯沢市大町2丁目2-2
Tel. 0183-73-6104
Fax. 0183-72-3416
営業時間 9:30~18:00

とみやの様な個人商店の場合、店内の転用できるスペースを「まちの駅」に充てれば、買い物客以外にも地元住民や観光客などが店に出入りするきっかけになり、本業への好影響も期待できる。多額の支出や大掛かりな工事もなく、商店の集客策としては大いに検討に値する方策の一つと言える。

ハードの整備を終えソフトで補強を図る

「まちの駅 カクトとみや」は、湯沢の伝統行事「七夕絵どうろうまつり」の直前の本年7月31日に正式オープンした。

店内奥のバックヤードにしていたスペースを改装し、誰でも自由に気軽に休憩できる空間にした。専門家のアドバイスを受け、店頭から店内奥にある「まちの駅」までの導線を意識して商品の陳列方法もアレンジした。店として売りたい商品が自然に来店客の目にとまるようにしたわけだ。

今後はこのスペースを美術作品などのギャラリーとして使ってもらったり、小さなイベントを継続的に企画していくことで、“にぎわいの場”にしていきたいと、店を切り盛りする富谷彩香さんは考えている。



- 1 店内の「まちの駅」スペースへの導線を意識して商品陳列もアレンジした。
- 2 母親の久美子さんと共に店を切り盛りする富谷彩香さん。
- 3 ギャラリーとして利用されることも想定している。
- 4 店頭に新しく立てられた「まちの駅」の手づくり看板。

専門家派遣事業

創業や経営の向上を図ろうとする中小企業者等が抱える様々な課題に対し、当センター登録の民間専門家を派遣し、課題解決のための診断・助言を実施します。

【制度の利用・お問い合わせについて】

あきた企業活性化センター／企画・総合相談担当まで。

事業の解説